



2019年7月11日

各 位

会社名 株式会社 エヌリンクス
代表者名 代表取締役社長 栗林 憲介
(コード番号：6578 東証第二部)
問合せ先 取締役副社長兼管理本部長 栗林 圭介
(TEL. 03-6825-5022)

連結決算への移行に伴う2020年2月期連結業績予想

および個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月期より連結決算に移行いたしますので、下記のとおり2020年2月期連結業績予想を公表いたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月11日付当社「2019年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において公表いたしました2020年2月期の個別業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結決算への移行について

当社は、子会社であるブロックチェーンゲームス株式会社について、従来は重要性が乏しいことから連結決算を行っておりませんでした。その重要性が増したことにより、2020年2月期第1四半期より連結決算へ移行することといたしました。

2. 連結業績予想の公表（2019年3月1日～2020年2月29日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
第2四半期	2,412	△103	△98	△100	円 銭 △14.13
通 期	4,961	△163	△156	△163	△23.03

3. 連結業績予想の概要

上記の連結業績予想は、修正後の個別業績予想の数値に連結対象となる当社子会社 ブロックチェーンゲーム株式会社の業績予想を織り込んだ数値であります。

4. 2020年2月期通期 個別業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	5,226	283	289	176	円 銭 24.84
今回修正(B)	4,961	10	18	10	1.47
増減額(B-A)	△265	△272	△271	△166	△24.36
増減率(%)	△5.1	△96.2	△93.7	△94.1	△94.1
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	4,757	381	374	208	30.22

5. 修正理由

当社の主力事業である、放送受信料の契約・収納代行業務において、2019年2月1日より、奨学金受給対象の学生、授業料免除対象の学生、市町村民税非課税世帯の学生および公的扶助受給世帯の学生への放送受信料免除等（以下、「本事由」といいます。）に伴い、当社は本事由が当社業績に与える影響を十分に考慮し、2019年4月11日に2020年2月期の個別業績予想（以下、「前回予想」といいます。）を発表いたしました。しかしながら、本事由の当社業務に与える影響は当社の予想を大きく超えており、結果として当第1四半期累計期間の放送受信料の契約・収納代行業務の売上は、前回予想を大きく下回りました。加えて、2019年6月度においても本事由の影響が続いており、放送受信料の契約・収納代行業務の売上は予想を大きく下回る結果となりました。

以上の状況を踏まえ、年間の放送受信料の契約・収納代行業務の売上を再度見直しましたところ、前回予想の4,263百万円から300百万円減少の3,962百万円になりました。

一方メディア事業は堅調に推移していることから、メディア事業全体の売上は、前回予想の962百万円から29百万円増加の992百万円となり、全体の売上高は、前回予想から265百万円減少の4,961百万円となりました。

費用に関しましては、売上高が減少する一方、放送受信料の契約・収納代行業務強化のため、営業社員を前回予想時点より増加させたことから、給与手当および募集・採用費等の販管費が微増し、営業利益が272百万円減少の10百万円、経常利益が271百万円減少の18百万円となり、法人税等の見直しを行った結果、当期純利益は166百万円減少の10百万円となる見通しであります。

(注) 本資料による業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上